

ハッカソン概要

- 日時： 2022年11月19日(土)-20日(日) ※ハッカソンに先立ち、ハンズオン講習会を 2022年10月8日(土)-9日(日)に実施。
- 会場： 岡山大学津島キャンパス
- 主催： Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 岡山運営委員会
- 共催： 岡山県高度情報化推進協議会
- 特別協力： 岡山大学グリーンイノベーションセンター
- 協賛： オカネツ工業(株)、(株)トスコ、(株)英田エンジニアリング、ピープルソフトウェア(株)他、計15組織
- 協力： 岡山県、岡山県立大学、岡山理科大学、岡山県産業振興財団、(一社)システムエンジニアリング岡山、岡山ネットワーク(株)、コニカミノルタ(株)、中国地域ICT産学官連携フォーラム、岡山大学 DS部、CHIRIMEN Open Hardware、Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 中央実行委員会
- 後援： 総務省中国総合通信局、(株)中国銀行、おかもやIoT推進ラボ、Beyond 5G 新経営戦略センター
- 概要： センサーやモーターなどをWeb標準技術(JS)から制御する方法等、講習会で学習した知識や技能を活かして「岡山から農業DXを発信！！」をテーマにしたハッカソンを行い、チーム毎に作品の出来栄を競った。
- 参加者： 大学生23名、社会人13名、計36名(8チームがハッカソン参加)

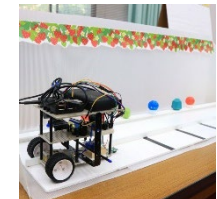
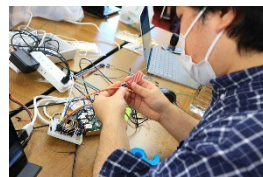


教材環境
Raspberry Pi 4 版
CHIRIMEN

最優秀賞：ただのスマートプランター

(チーム名：Farmer)

未経験者が栽培を科学的かつ簡単に体験するためのスマート水耕栽培キット。同様のデバイスが既に市場にあるため、デバイス自体には基本的なセンシング及び制御機能を持たせた「ただのスマートプランター」とし、オープンソースとして全ての情報を公開している。ハードを自由に利用できるため、必要に応じてハードウェアに機能を付加したり、デバイスを利用したサービスの開発が加速されることを目指した作品。



2022年度 Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS in 岡山 開催報告



目的	主に初学者を対象として、標準技術やOSS利活用についての理解を深めながら、シングルボードコンピュータ等を使ったハンズオン形式の講習会やハッカソンでの開発体験を通し、実践的なスキルアップの機会提供を行い Society 5.0 時代に特に必要とされるエンジニア人財の育成を目指す。		
使用教材環境	Raspberry Pi 4 版 CHIRIMEN (Raspberry Pi のブラウザ上に Web GPIO API *1 と Web I2C API *1 を実装したIoTプログラミング学習・実験環境) *1 汎用インターフェースであるGPIO/I2C経由でブラウザからセンサ・アクチュエータを直接制御するためのAPI		
ハッカソンテーマ	「岡山から農業DXを発信！！」(農業に限らず、広くグリーンに関する DX や UX を発想した楽しい作品づくりにチャレンジすることとした)		
運営委員会	主査	野上 保之 氏 (岡山大学 学術研究院自然科学学域(工)教授 / DX・情報セキュリティ担当副理事)	
	参画自治体	岡山県	
	参画教育機関	岡山大学、岡山理科大学、岡山県立大学	
	事務局	岡山大学、一般社団法人 WebDINO Japan	
	ハンズオン講習会		ハッカソン
日程	2022年10月8日(土) - 9日(日)		2022年11月19日(土) - 20日(日)
会場	岡山大学 津島キャンパス 自然科学研究科棟 2階 大会議室		岡山大学 津島キャンパス 自然科学研究科棟 2階 大会議室
参加者数	36 名		36 名 8チーム
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 座学講習(標準技術とOSSの基礎、電波とワイヤレス通信の基礎) Raspberry Pi 4 版 CHIRIMEN を使ったハンズオン講習 ハッカソンに向けてのアイデアワークショップ、スポンサー企業によるハッカソンテーマに沿ったインプットーク 		<ul style="list-style-type: none"> チーム毎による作品制作(ソフトウェア/ハードウェア) 成果発表会(作品のデモ) / メインスポンサー3社によるPRタイム 作品審査および結果発表
講師／審査員	講師	座学講習(標準技術とOSS利活用の意義) 講師: 深見 嘉明 氏 (東京理科大学経営学部 国際デザイン経営学科)	審査員
		ハンズオン 講師: 渡邊 浩平 氏 (一般社団法人 WebDINO Japan)	
表彰	<p>最優秀賞: 作品名「ただのスマートプランター」(チーム名: Farmer) メンバーは、社会人2名と岡山大学の大学生3名の5名チーム。 特別賞(オカネツ賞): 作品名「育ててワクワク花苗ちゃん」(社会人2名と岡山大学の大学生3名の5名チーム)。特別賞(トスコ賞): 作品名「田んぼの未来を見守りくん」(社会人2名と岡山大学の大学生1名、岡山県立大学生2名の5名チーム)。特別賞(英田賞): 作品名「Pour la région(ポーラレジオン)」(社会人1名と岡山大学の大学生2名と岡山県大生2名の5名チーム)。特別賞(コニカミノルタ賞): 作品名「みんなを笑顔にする無人販売所」(社会人2名と岡山大学の大学生1名と岡山県大生1名の5名チーム)。</p>		
その他 (地域の特色など)	<ul style="list-style-type: none"> 自走に向けて、農業DXというテーマを最初に掲げて、テーマにマッチする地元企業を中心に計15の企業、組織から協賛を集めて開催。 メインスポンサーにはPRタイムやアイデアソンのインプットークの機会を提供。最優秀賞チームには、総務省中国総合通信局より局長賞を授与。 参加者の技術サポートは岡山大学の大学院生(過去の参加者を含む)が主に対応。 		